

【エクアドル内政・外交:2023年1月】

1 内政

(1)レプソル社の石油業運営を引き継いだペトロエクアドル

1日、ペトロエクアドルは、契約期間(1999年～2022年12月31日)満了となった、スペイン・レプソル社(Repsol)が担当していたオレジャーナ県の2つの鉱区(鉱区16及び鉱区67)の運営を引き継いだ旨発表した。

(2)マリア・ベレン氏殺害の容疑者がキトへ移送

9日、マリア・ベレン弁護士殺害の容疑で逮捕され、拘留中のヘルマン・カセレス容疑者が、4分野の専門家による事情聴取を受けるため、グアヤキルからキトに移送された。今後、12日にはカセレス容疑者自ら事件当時の説明を行う予定。

(3)国政に関わる汚職疑惑

9日、サキセラ国会議長は、当地 La Posta 誌が報じた、国営企業の汚職疑惑について、検察総長に調査を依頼した。同誌によると、エクアドル電力公社(CELEC)内で、ラッソ大統領に近い人物が主導する汚職疑惑が浮上した由。

(4)政府による国営企業取締役の辞任要求

17日、政府の汚職疑惑の報道に世間の関心が高まる中、ラッソ大統領は、疑念払拭のため、主要な国営企業及び公的報道機関の取締役及び代表者の辞任を要求した。対象企業には、エクアドル電力公社(CELEC)及び公共放送である Ecuador TV 等が含まれており、各企業で後任を調整中。今後、上記企業により辞任要求が受諾され、後任が決定され次第、大統領令が発出される見込みである。

(5)エクアドル国内にてコカイン約1トンを押収

22日、エクアドル国家警察は、グアヤキル市の港で、英国に輸出されるツナ缶のコンテナから、コカイン928kgを押収したと報告した。この事件を受け、同日、ラッソ大統領は、2021年5月の同政権開始以来、エクアドル国内にて約300トン以上の麻薬を押収したと公表した。

2 外交

(1)エクアドルの国連安保理非常任理事国就任

3日、エクアドルは、日本、マルタ、モザンビーク及びスイスとともに、米ニューヨークの国連本部で、安保理非常任理事国の就任式典に出席し、その任期を開始した。ペレス・エクアドル国連大使は、演説の中で、エクアドルが常に国際法と国連憲章を尊重してきたことを再確認し、また、この重要な任務を託してくれた全国連加盟国に感謝の意を表明した。

(2)林大臣のエクアドル訪問(往電第8号、14号及び第41号)

6日、林外務大臣は、エクアドル大統領府にて、ラッソ大統領を表敬訪問し、安全保障、環境、投資、貿易、二国間協力に関する問題について意見交換し、双方は両国関係の強化に合意した。エクアドルからは、オルギン外相、アロセメナ経済財務大臣及びプラド生産貿易投資漁業大臣が同席した。また、林大臣は同日午後、オルギン外相とワーキングランチ及び共同記者発表を行った。

(3)オルギン外相の法の支配及び平和構築に関する公開討論への出席

12日、オルギン外相は、国連安保理にて1月の議長国を務める日本が開催した「国際の平和と安全の維持における法の支配の推進と強化：国家間の法の支配」の公開討論に出席した。同外相は、平和と国際安全保障の維持には法の支配の促進、強化、尊重が不可欠である旨強調した上で、国際組織犯罪や武器の不法取引に対処するためには、安保理内での調整が必要であること、いかなる国の領土保全や政治的独立に対しても武力行使に訴えないという国連憲章の目的を守り尊重すること、ウクライナに対する侵略を終わらせること、そして核兵器を使用するという脅威を拒否すると述べた。

(4)ラッソ大統領のダボス会議への参加(往電第60号)

16日～20日にかけて、ラッソ大統領はスイスで開催された第53回ダボス会議に出席した。同大統領は、17日、公式議題の一つである「プラスチック汚染の撲滅」に関するシンポジウムに出席し、2025年に、プラスチック汚染に関する国際協定の調印式をエクアドルで開催することを提案したほか、同テーマに関するエクアドルのイニシアチブを報告した。

(5)対ハンガリー外交：二国間の安全保障及び炭化水素協力協定に調印

19日、エクアドルとハンガリーは、エクアドルを訪問中のペテル・シジャート・ハンガリー対外経済関係・外務大臣の間で、安全保障及び炭化水素産業における二国間協力に関する2つの覚書を締結した。両国は、本2023年、外交関係樹立77周年を迎えるにあたり、さらなる貿易関係促進及びハンガリーの対エクアドル投資の増加を加速させること等に合意した。

(6)対イタリア外交：国境を越えた犯罪組織との闘いにおける協力関係強化

20日、オルギン外相は、訪問先のイタリアにおいて、エクアドルの組織犯罪および国境を越えた犯罪との闘いを推進するための会合を開催した。同外相は、エクアドル政府が実施している刑務所改革と、資金調達、訓練、支援に関する協力ニーズについて説明したほか、エクアドルにおけるイタリアの安全保障協力プログラムおよび欧州連合が資金を提供するその他の地域プログラムに対し感謝の意を述べた。

(7) オルギン外相の第7回 CELAC 首脳会議出席

24日、オルギン外相は、ラッソ大統領代理として、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催された第7回ラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体(CELAC)首脳会議に出席した。同外相は、

エクアドルについて、食料安全保障及びクリーンエネルギー生産等、すでにコンセンサスが得られている問題に集中することで、地域として前進できると確信している旨述べた。